

「東京科学大学献体の会」会員ならびにご関係の皆さんへ

臨床解剖学分野では、以下の研究を行っております。皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

研究課題名：手指人工関節開発に関する解剖学的研究

東京科学大学医学系倫理委員会承認番号：第 I2025-322 番

データ収集期間：研究実施許可日～2030 年 3 月 31 日まで

研究目的：

近年、手指の変形性関節症の患者数は増加しています。手指のこわばり、動かしにくさや、進行すると関節痛、握力低下、変形をきたし、生活の質が著しく低下します。進行した手指の変形性関節症には、関節の動きをなくす関節固定術が従来法でしたが、関節の動きが犠牲となり、職業や価値観などにより受け入れられないことがあります。代替治療として人工関節置換術が普及してきていますが、膝や股関節と比較して、手指の人工関節に関しては解剖学的、運動学的な研究は少なく、今後手指の人工関節で安定した成績を出すには基礎的知見が非常に重要です。私たちは、ケイセイ医科工業（株）にて現在開発中の人工関節を解剖体手指に設置し、関節可動域や画像を解析し新たな人工関節開発に寄与したいと考えています。

研究の対象：

本研究で用いる解剖体は、すべて生前に「東京科学大学献体の会」に入会された方のご遺体です。その尊いご遺志に深く感謝するとともに、医学、歯学の教育ならびに研究に用いるという献体法（医学及び歯学の教育のために献体に関する法律）ならびに死体解剖保存法の精神を遵守して行って参ります。また、研究の実施に当たっては、「ヘルシンキ宣言」および「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守すると共に、日本解剖学会が定めた「解剖体を用いた研究についての考え方と実施に関するガイドライン」に従って行います。

研究の内容 :

本学臨床解剖学講座にて保存されている解剖体を用いて、挿入前の関節可動域を計測します。手指関節の解剖の確認、関節内に至る各種展開法を確認します。次に、現在、ケイセイ医科工業（株）にて開発中の表面置換型人工関節を設置して、X線撮影装置（SOFTEX CMBW-2、ソフテックス社）、マイクロCT（SMX-100CT、島津製作所）等を使用し、手指のX線・CT画像評価を行います。人工関節設置後での関節運動を解析し、設置前後の違いを比較します。

この研究により一定の成果がえられた場合には、その結果を国内外の学会や論文で発表しますが、写真閲覧時に匿名化を行い、解剖体の個人を特定できる情報は使用いたしません。登録解剖体の同定や照会は、登録時に発行される登録番号を用いて行います。登録にあたっては、識別番号を設定し、対応表を作成します。参照した画像等は、匿名化の後、臨床解剖学医局にて10年間厳重に保管し、研究終了後に適切に扱わせていただきます。

本研究は運動器機能形態学講座の共同研究費を用いて、ケイセイ医科工業（株）（研究責任者：松田純平）との共同研究で行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、医学部臨床研究利益相反委員会に申告を行い、承認されています。手指可動域データや人工関節設置後のXP画像、CT画像はケイセイ医科工業（株）へ提供され解析されます。またデータを二次的に利用する場合は新たな研究計画を立案し医学系倫理審査委員会で承認された後、改めてホームページ上でお知らせいたします。

なお、本研究に関してお問い合わせのある場合、下記宛先までご連絡ください。また、研究の途中であっても、解剖体の使用あるいは得られたデータの使用をお断りになる場合には直ちに本研究の対象から除外します。その場合にも故人および関係者の皆様の不利益となることは一切ありませんので、ご遠慮なくお申し出ください。

研究責任者：東京科学大学 運動器機能形態学講座 二村 昭元

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

電話：03-5803-5390（対応可能時間帯 平日 9:00～17:00）

苦情・相談窓口 :

苦情窓口：東京科学大学研究推進部 研究基盤推進課 生命倫理グループ

03-5803-4547（対応可能時間帯：平日 9:00～17:00）